

STEAM 教育モデル事業

燕中学校に「つばくろ-Lab.」を開設

3Dプリンターやレーザーカッター、ハイスペックPCも配備され、 こどもたちの発想を表現する新しい空間ができました

市では急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成するSTEAM教育を推進するためのモデル事業を、民間企業との協働により実施します。このたび、モデル校となる燕中学校に「つばくろ-Lab.」が完成しました。モデル校においては、教科を問わず日常的に情報技術を活用できる環境として研究に活かしていきます。9月27日（水）に「つばくろ-Lab.」開設セレモニーを開催します。

1. 「つばくろ-Lab.」の概要 ～自由に想像力を働かせ、発想を表現する場所～



導入設備等

- ①ミーティングテーブル：様々な形式で話し合い活動が可能（移動・分離可能）
- ②ハイスペックPC：高品質な画像、動画の編集が可能
- ③ホワイトボード兼スクリーン・プロジェクター2台（天吊）：教室前面に設置
- ④3Dプリンター：教育用3Dモデリングソフトでイメージ作成し、実物化
- ⑤レーザーカッター：「切る」「掘る」等の高速加工が可能

2. 燕中学校「つばくろ-Lab.」開設セレモニー

- ①日時 令和5年9月27日（水）13:20~14:10
- ②会場 燕市立燕中学校 3階 つばくろ-Lab.（旧パソコン室）
- ③主な出席者
市長、教育長
協力企業：（株）ダイワボウ情報システム、（株）NS・コンピュータサービス
アドバイザー：上越教育大学 山崎 貞登 教授
- ④内容 ・「つばくろ-Lab」活用イメージ動画の上映
・燕中学校生徒による機器活用のデモンストレーション
・出席者からのご挨拶

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 学校教育課：小池
電話：0256-77-8191（直通）